令和二年度　第１０９回　小・中学部卒業証書授与式　校長式辞

春の訪れを感じる今日の佳き日、県教育委員会をはじめご来賓並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、小学部・中学部卒業証書授与式を挙行できますことに対し、心から感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。今、一人一人に卒業証書を渡しました。皆さんの堂々とした態度を見て、立派に成長したことをうれしく思います。

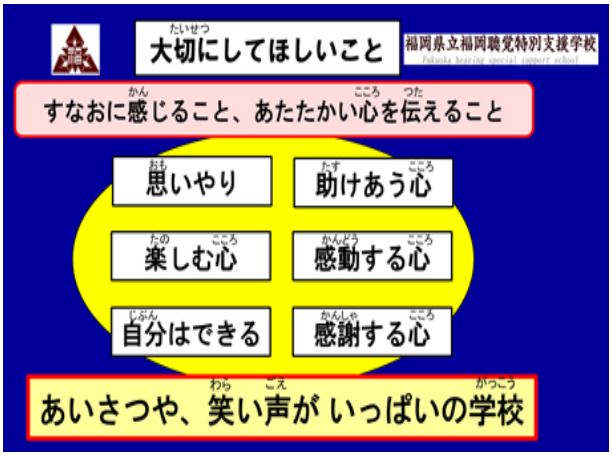
本年度は、新型コロナウイルス感染防止のために、楽しみにしていた行事や活動が、中止や縮小になりました。しかし皆さんは、できることを精一杯頑張ろうと、感染防止と工夫を重ねて活動に取り組みました。特に学習発表会での堂々とした発表は、素晴らしかったです。みんなに感動を与えてくれました。よく頑張りました。

小学部を卒業する六人は、これまでの六年間で立派に成長し小学部をまとめてくれました。周りの人たちに率先して挨拶をしたり、下級生のお世話や一緒に遊んであげたりするなど、心優しく思いやりのある行動ができる皆さんでした。

四月から中学生です。制服を着て通学し、新しい勉強や部活動も始まります。小学部での経験に自信をもち、何事にも積極的に取り組み、更に成長することを期待しています。

中学部を卒業する四人は、本校の最上級生として、様々な活動でリーダーとして積極的にアイデアを出し、下級生に根気強く教え、助言ができる頼もしい存在でした。また、勉強や運動にも熱心に取り組み、中学部３年間での絵画展や書道展、合奏コンクール、スポーツ大会での数々の入賞は、後輩達の目標となりました。そして、四人がいつも仲良く、楽しそうにしている姿は、学校を明るくしてくれました。

四月から高校生です。この学校で培った力や友達の絆を大切に、新しい場所でより一層成長することを期待しています。



さて、校長先生は、「**大切にしてほしいこと**」を話してきました。皆さんは、**「思いやり」「助けあう心」「楽しむ心」「感動する心」「自分はできる」「感謝する心」**という六つの言葉を意識して、いろいろな場面で言葉にして伝え、良い行動を起こしてくれました。伝えてもらった人達は、とても嬉しくなり、心が温かくなったと思います。そして、何よりも皆さん自身が、とても気持ちが良かったと思います。

「出会った人を大切にすること、そして自分自身を大切にすること」、とても良い経験を積み重ねましたね。

自分を大切にすると同じように、自分の周りにいる人達、これから出会う人達を大切にし、人のために何ができるかを考え、行動できる人になってください。皆さんが、心豊かな大人に成長していくことを願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。立派に成長されたお子様のご卒業を迎えられ、喜びもひとしおのことと存じます。

これまで本校に賜りましたご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

また本年度は、新型コロナウイルス感染症防止の対応として、学校行事等の削減や参観等の人数制限等、保護者の皆様にはご不安やご不便をおかけしましたが、学校の取組にご理解、ご協力をいただき、併せて感謝申し上げます。

私達職員一同はこれから先も、お子様の成長を見守り、応援していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、卒業生の皆さんの輝く未来に幸多からんことを祈念して、式辞といたします。

令和３年３月１２日

福岡県立福岡聴覚特別支援学校　校長　篠原　幹浩